

## 高齢者福祉施設における園芸活動が利用者に及ぼす 身体的・心理的影響の複合的效果に関する研究

Study on the multiple effects of horticultural activities on the body and  
psychology of the user in elderly welfare facilities

岡田 準人（OKADA Norito）

総務省の人口統計によると、平成28年9月15日現在における日本の総人口1億2,695万人に占める65歳以上の高齢者人口は3,461万人であり、総人口に占める高齢者人口の割合は27.3%になっている。このような高齢化社会を迎えている日本において、近年特に、高齢者福祉施設における利用者やそこで働くスタッフなどの肉体的・精神的負担が原因とみられる暴行事件や各種事故などが社会問題となっている。それらを未然に防ぐために、利用者やそこで働くスタッフなどの肉体的・精神的負担をどのように軽減するかが課題となっている。以前から、社会福祉施設や医療機関においては、作業療法やレクリエーションなどの一環として、園芸療法や園芸福祉活動などの多様な園芸活動が実践されてきた。また、これらの園芸活動の多面的な効果は、特に高齢者福祉施設における利用者やそこで働くスタッフなどの肉体的・精神的負担を軽減する効果があると考えられる。そこで本研究では、主として資料調査および文献調査を通じて既往の知見を整理し、高齢者福祉施設における園芸活動が利用者に及ぼす身体的・心理的影響の複合的效果に関して基礎的知見を得ることを目的とした。

高齢者福祉施設における園芸活動に関する資料を収集するとともに、文献調査を通じて、園芸療法や園芸福祉活動などの園芸活動が利用者に及ぼす身体的・心理的影響に関する既往研究の知見の整理を行った。なお、文献調査は、文献データベースを用いて、「園芸療法」および「園芸福祉」をキーワードに設定し、平成29年2月から3月にかけて行った。

資料調査の結果から、老人福祉施設、障害者支援施設、および児童福祉施設などの社会福祉施設では、様々な園芸活動が実践されており、多くの高齢者福祉施設でも園芸活動が実践されていることが明らかになった。次に、文献調査の結果から、これまで、社会福祉施設や医療機関において、園芸療法が認知症の予防に及ぼす効果を調べた研究や、高齢者のQOLの向上などに及ぼす園芸活動の効果に着目した研究などが行われており、様々な園芸活動が利用者に及ぼす身体的・心理的影響に関する知見があることが明らかになった。また、園芸療法や園芸福祉活動などの園芸活動を実践していくための園芸活動プログラムに関する研究も行われていた。これらの園芸療法および園芸福祉活動に関する有用な知見を整理し、園芸療法や園芸福祉活動などの園芸活動が、高齢者福祉施設の利用者に及ぼす身体的・心理的影響の複合的效果に関して考察した。

本研究成果の一部は、人間・植物関係学会 2017 年大会および第 10 回日本園芸療法学会愛知大会において、発表した。